

《担当者名》 教授 / 古市 保志furuichi@ 教授 / 長澤 敏行nagasawa@ 教授 / 伊藤 修一shu@  
 准教授 / 門 貴司kado@ 講師 / 森 真理marichan@ 講師 / 加藤 幸紀satsuki@  
 助教 / 清水 伸太郎sshimizu@ 助教 / 薮 佳奈子shitomi@ 助教 / 柳瀬 舜佑  
 非常勤講師 / 河合 治 非常勤講師 / 富岡 純 非常勤講師 / 伊藤 泰城  
 非常勤講師 / 藤原 純 非常勤講師 / 湯本 泰弘 非常勤講師 / 石井 克枝  
 非常勤講師 / 上與那原 朝秀 非常勤講師 / 伊藤 大輔 非常勤講師 / 小松 寿明  
 非常勤講師 / 市岡 勇輝 非常勤講師 / 坂本 渉

【概要】

歯内療法の実際について、マネキンを用いた実習用模型によるシミュレーションシステムとマルチメディアシステムを用いて、歯内療法の基本的治療術式について、使用器具・器材・材料の取り扱い・使用方法から学ぶ。

【学修目標】

- 髄腔開拓法の方法を説明する。
- ブローチ綿花の巻き方を説明する。
- 手用根管切削器具（リーマー・ファイル）の使用法を説明する。
- 抜髄法の術式を説明する。
- 感染根管治療の術式を説明する。
- 根管拡大・形成法を説明する。
- 側方加圧法による根管充填の術式を説明する。
- 根管長測定法を説明する。
- 抜髄から根管充填までを、一連の治療内容として実施する。
- 患者の安全と正確な歯内治療を行うために必要とされる器具・材料の操作を実施する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	実習での諸注意、歯の選択  髄腔開拓、根管口明示	歯内療法学実習の進め方や必要な材料、器具の取り扱い方についての説明を行う。 歯髄形態を再現した人工歯を植立したPCT顎模型をファントムにつけ、根管拡大・形成の基本となる髄腔開拓、根管口明示の実習を行う。 (E-3-3)-(2)- ) エックス線写真から髄腔形態を読影する。 (E-3-1)- ) (F-3-3)- )	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
2	髄腔開拓、根管口明示	PCT顎模型をマネキンにつけ、抜髄を想定し髄腔開拓・根管口明示の実習を行う（人工歯）。 (F-3-3)- )	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
3 { 5	石こう模型作製  隔壁形成  根管拡大・形成 ブローチ綿花の巻き方、リーマー、ファイルの使用法	実習に使用する天然歯を植立した石こう模型を作製する。 歯冠崩壊の著しい患歯に対し、ラバーダム防湿を行え、仮封を強固にすることで根管消毒効果を高めるための隔壁の目的と形成法について理解する。 (F-3-3)- ) 麻酔抜髄法と感染根管治療の違いを理解する。 (E-3-3)-(2)- ) PCT顎模型をマネキンにつけ、抜髄を想定し根管拡大・根管形成を行う（人工歯）。 根管内の拭掃、乾燥法や根管貼薬に用いるブロー	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>子綿花のまき方を実習する。            リーマー・ファイルの規格を知り、使用法を実習する。            (E-3-3)-(2)- )            (F-3-3)- )</p>	
6 ) 7	根管充填	<p>PCT顎模型を用い、側方加圧法による根管充填法の実習を行う。            (E-3-3)-(2)- )            (F-3-3)- )</p>	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
8	最新の歯内療法	<p>ロータリー・ニッケル・チタンファイル、電氣的根管長測定器、マイクロスコープの使用法を理解する。            (E-3-3)-(2)- )            (F-3-3)- )</p>	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
9	抜髄から根管貼薬まで	<p>PCT顎模型をマネキンにつけ、下顎大白歯（人工歯）を用いて抜髄から根管貼薬までの実習を行う。            (E-3-3)-(2)- )            (F-3-3)- )</p>	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
10	根管充填	<p>PCT顎模型をマネキンにつけ、下顎大白歯（人工歯）を用いて根管充填までの実習を行う。            (E-3-3)-(2)- 、E-3-3)-(2)- )            (F-3-3)- )</p>	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
11	感染根管治療（急性歯槽膿瘍のある場合）	<p>透明根管模型を用いて急性歯槽膿瘍に対する感染根管治療の実習を行う。            (E-3-3)-(2)- )</p>	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
12	抜髄から根管貼薬まで	<p>PCT顎模型をマネキンにつけ、上顎大白歯（人工</p>	古市 保志

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		歯)を用いて抜髄から根管貼薬までの実習を行う。 (E-3-3)-(2)- ) (F-3-3)- )	長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
13	根管充填	PCT顎模型をマネキンにつけ、上顎大白歯(人工歯)を用いて根管充填までの実習を行う。 (E-3-3)-(2)- 、E-3-3)-(2)- ) (F-3-3)- )	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
14	抜髄から根管充填まで	ファントムに装着した天然歯を用い、抜髄から根管充填までの実習を行う。 根管充填後エックス線写真を撮影し観察を行う。 (E-3-3)-(2)- 、E-3-3)-(2)- 、E-3-3)-(2)- )	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師
15	試験ケース	ファントムに装着した人工歯を用いて、抜髄、根管長測定、根管拡大・形成、根管充填の試験を行う。 (F-3-3)- )	古市 保志 長澤 敏行 伊藤 修一 門 貴司 森 真理 加藤 幸紀 清水 伸太郎 薮 佳奈子 柳瀬 舜佑 非常勤講師

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

歯内療法学(前期)評価方法

- ・ [歯内療法学(前期講義)評価方法] 定期試験(100%)
- ・ [歯内療法学(前期実習)評価方法] 実習到達度(80%)、実習前小テスト(20%)
- ・ [判定法] 講義・実習ともに60点以上を合格とし、両者の平均を成績とする。

歯内療法学(前後期)評価方法

- ・ [判定法] 前期評価2に対し後期評価1の割合で評価し、60点以上を合格とする。

#### 【教科書】

「歯内療法学実習書」北海道医療大学歯学部歯周歯内治療学分野 編

#### 【参考書】

第5版歯内治療学(医歯薬出版)

講義配布資料

#### 【学修の準備】

実習開始時に実習内容に関するテストを実施する。

実習開始前は、事前に実習書の該当ページを読み、実習内容を理解する（30分）。  
該当する実習の講義内容を教科書・配布資料を読んで復習する（30分）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために、歯髄・根尖歯周組織疾患の診断・治療法（歯内療法）を学修する（専門的実践能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を歯内療法学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な知識を歯内療法学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を歯内療法学の観点から修得する（社会的貢献）。

**【実務経験】**

古市 保志（歯科医師）、長澤 敏行（歯科医師）、伊藤 修一（歯科医師）、門 貴司（歯科医師）、森 真理（歯科医師）、加藤 幸紀（歯科医師）、塚越 慎（歯科医師）、清水 伸太郎（歯科医師）、薮 佳奈子（歯科医師）、柳瀬 舜佑（歯科医師）、非常勤講師（歯科医師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

歯内療法学は、歯髄・根尖歯周組織疾患の治療を通じて口腔機能の回復の意義、う蝕予防の重要性、さらには歯内療法が口腔のみならず全身の健康に寄与する科目であることを理解する。学術的根拠を背景とした診療の実際について学ぶ機会である実習において、臨床実務経験のある教員を配置することで、歯内療法学に関する優れた教育成果をあげることが期待できる教育内容である。